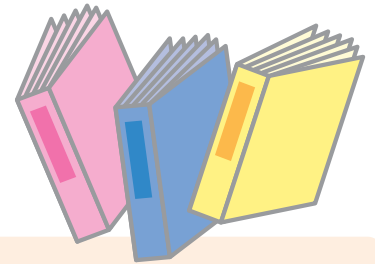




2022年度 新人看護職員研修・修了証書授与式

入職1年目の看護職員が全員集合し ポートフォリオで 「学び」を発表しました



2022年度入職の看護職員がポートフォリオで1年目を振り返り、臨床での経験と学びを発表し、お互いの成長を確認しました。前年度はWeb会議システムを利用していたのですが、今回は入職1年目の看護職員が一同に会して実施することができました。

2023年2月22日

勤医協中央病院みなくろA

参加者：入職1年目の看護職員35人

最終講義で「インシデントレポートの書き方のコツ」を再確認

2022年度の新人看護師研修会の最終講義は、医療安全室の後藤まり子師長が講師を務め「事実が伝わるインシデントレポートを書こう!」をテーマに、医療の安全や当院のIA報告(インシデントアクセシブルレポート)について説明しました。私たち「ひと」には常にヒューマンエラーがつきまとい、「ひと」である看護師が侵襲のある医療行為を煩雑な医療現場で実施しているため「医療の現場に安全は存在しない、存在するのはリスクのみ」であることを改めて強調しました。そのような環境の中で安全な看護を提供するためには「正しい知識をもつこと、ルールを守ることが必要」と伝えました。

講義後半には、インシデントレポートの目的や書き方のコツを解説。「推測ではなく、事実が伝わるように5W1Hを意識して書きましょう」「インシデントが報告されることで問題点を見だし対策を講じることができ、医療事故から患者を守ることにつながります」とインシデントレポートの重要性について改めて示しました。

1年目で得た 学びと気づきを発表

看護部の全職員が取り組むポートフォリオは「学びと成長の



記録」です。新人看護職員は、1年を通して綴った学習会の資料や自ら作成した手順書、指導者や先輩からのアドバイスなどの記録やその内容を報告し、所属部署での看護実践から得た学びや多職種と協働するチーム医療の一員として気が付いたことなど、1年目の経験で得た看護観を発表しました。それを受け、各部署の師長や主任が「成長の様子や2年目への期待」を伝えました。

最後に看護部長が修了証書を一人一人に手渡しました。

ポートフォリオの発表の様子は、ナースワゴン+α No.85で紹介しています